

- ◆原発から撤退させよう
- ◆消費税の増税はストップさせよう
- ◆平和憲法を守ろう

和歌山 合同法律新聞

発行所
和歌山合同法律事務所
和歌山市十二番丁10番地
電話 (073)433-2241(代)
発行責任者 畑中 正好



暑中お見舞い申し上げます。
今年は忘ることのできない年になりました。3月11日に東日本大震災が発生しました。歴史上稀に見る大地震であり、非常に多くの被害が発生し、被災者も多数のぼります。現在でも、行方不明の方が多数います。そのうえ、炉心溶融（メルトダウン）と多量の放射能漏れを起こした深刻な福島原発問題は、未だに収束の気配を見せていません。「想定外」といつてますことのできるような問題ではありませんし、政府や東京電力による情報隠しも国民の不信をいっそう増幅させてています。国民

夏期休業のお知らせ
8月13日(土)
～15日(月)
16日より平常業務を行います。

政治は誰のために

東日本大震災

不在の政争、権力闘争にあけくれる政界、そのような中で復旧、復興に取り組む被災者を初めとする多くの人々。政治は誰のためにあるのか、このことをあらためて考えさせられます。当事務所も、市民オンブズマン活動を通じて少しでも政治が良くなればと願っています。

先日、和歌山市禰宜の旧中筋家住宅を見学してきました。江戸時代末期に大庄屋として栄えた中筋家の大屋敷で、敷地面積が約二千二百平米もあり、紀の川流域で随一の広さのそうです。主屋など6棟が国の重要文化財に指定されています。平成12年から約10年間に渡り修復工事が行われ、昨年8月から一般公開が始まりました。

門をくぐるとまず、眼前の大きな主屋に圧倒されます。中に入ると広い土間。懐かしいかまと。長い廊下にたくさんのお座敷。主屋の北側には庭に面した20畳の大広間。複雑な間取りに、童心にかえつて、かくれんぼでもしたくなってしまいます。壁に残された古新聞や、当時のままに再現されたお風呂やトイレにも興味津々です。

他にも敷地内には、貴重な資料も展示されていて、見どころは尽きません。ガイドさんがきめ細かい案内をしてくれるのも嬉しいところ。郷土の歴史や文化に触れる、とてもよい機会になります。たまにはこんな、地元の穴場(?)スポットを訪れてみるのはいかがでしょうか。タイムスリップした気分が味わえるありますですよ。(中北芽由)



